

# 福富の地域に誇りをもち、自分の生き方を考える児童・生徒の育成 ～地域における探究活動と協働的な学びを通して～



## 系統的なルーブリックの作成

・「主体性, 協働性」について

発達段階や実態に応じたルーブリックの作成

	協働性	レベル	主体性	
責任	役割をもち、最後までやり抜こうとしている。	1	課題について、自分の意見を持ち、前向きに取り組もうとしている。	肯定的思考
+共感	他者の意見を聞き、自分の意見と違った場合でも、そのよさを認め、共感しようとしている。	2	目的をもって学習に取り組もうとしている。	+目的意識
+メタ認知	他者の意見と自分の意見を比較し、自分の意見を客観的に捉えながら課題解決に取り組もうとしている。	3	課題解決に向けて、見通しを持ち、自分で目標を立てながら学習に取り組もうとしている。	+見通し
+特徴の活用	自他のよさを生かしながら、協力して課題解決に取り組もうとしている。	4	課題解決に向けて、自らさまざまな視点で考えようとしている。	+広い視野
+合意形成	議論をすることによって、合意形成を図ろうとしている。	5	設定した仮説に関する情報を自ら進んで収集し、結論を導き出そうとしている。	+思考の手順

## 異学年集団での活動

- ・導入の工夫「伝え、つなぐ」上級生から下級生へ
- ・異学年との協働の機会の充実



## 小中連携の工夫

- ・小中合同の研究授業研修会
- ・研究推進通信「FIT」
- ・児童・生徒実態の共有



## 地域における探究活動



- ・積極的に地域へ
- ・多様な視点



## 単元構成の工夫 ～成果や課題を次年度に引き継ぐ～



・伝える時間

単元の導入では、上の学年が、昨年度学習した内容や成果と課題、今年度やりたいことや思い等を下の学年へ伝える時間を設ける。

・引き継ぐ準備をする時間

単元の終末では、今年度の成果と課題、次年度でやりたいことなどを下の学年がまとめ、引き継ぐための準備をする時間を設ける。

単元構成ストーリー	【夢の実現プロジェクト】 福富小学校第5・6学年	【福富の魅力を守ろう】 福富中学校第1・2学年	
1 年 生	<p>○昨年度の学習を振り返り、課題や今年度どうしていきたいかを考え、各学年に伝えるための準備をする。</p> <p>○昨年度の活動で学んだことや、自分たちが「地域」について学んだことを、グループに分かれて話し、その中で「福富」について学んだことを発表し、今年度学習する中で、同じ地域について学んだことを発表し、今年度学習する中で、同じ地域について学んだことを発表する」という視点をもとに、できることを考え、計画を立てる。</p> <p>○地域との連携や、地域の人々との関わりを深め、地域を愛する心を育てる。</p> <p>○地域の人々と一緒に「福富」について学び、自分たちが「福富」について学んだことを発表し、今年度学習する中で、同じ地域について学んだことを発表する」という視点をもとに、できることを考え、計画を立てる。</p> <p>○今年度の成果や課題、引き継ぐための準備をする。</p>	<p>○昨年度の学習を振り返り、課題や今年度どうしていきたいかを考え、各学年に伝えるための準備をする。</p> <p>○昨年度の活動で学んだことや、自分たちが「地域」について学んだことを、グループに分かれて話し、その中で「福富」について学んだことを発表し、今年度学習する中で、同じ地域について学んだことを発表する」という視点をもとに、できることを考え、計画を立てる。</p> <p>○地域との連携や、地域の人々との関わりを深め、地域を愛する心を育てる。</p> <p>○地域の人々と一緒に「福富」について学び、自分たちが「福富」について学んだことを発表し、今年度学習する中で、同じ地域について学んだことを発表する」という視点をもとに、できることを考え、計画を立てる。</p> <p>○今年度の成果や課題、引き継ぐための準備をする。</p>	<p>○昨年度の学習を振り返り、課題や今年度どうしていきたいかを考え、各学年に伝えるための準備をする。</p> <p>○昨年度の活動で学んだことや、自分たちが「地域」について学んだことを、グループに分かれて話し、その中で「福富」について学んだことを発表し、今年度学習する中で、同じ地域について学んだことを発表する」という視点をもとに、できることを考え、計画を立てる。</p> <p>○地域との連携や、地域の人々との関わりを深め、地域を愛する心を育てる。</p> <p>○地域の人々と一緒に「福富」について学び、自分たちが「福富」について学んだことを発表し、今年度学習する中で、同じ地域について学んだことを発表する」という視点をもとに、できることを考え、計画を立てる。</p> <p>○今年度の成果や課題、引き継ぐための準備をする。</p>

# 中学校1・2年生 福富の魅力を守ろう

## 単元の目標



自分たちの意見から、「ごみ問題」や「観光」、「ミコシギク」などのテーマを設定し、それぞれのグループが福富の魅力の現状について調べ、福富町のよさと課題を把握したうえで、福富の魅力を守る活動を計画し、実践していく。この活動を通して、自らさまざまな視点で考え、自他のよさを生かしながら協力して取り組むことができる。

## 主体性を育成する工夫

### 課題設定の方法

生徒自身が興味・関心の高い課題を設定し、自分事として学習を進めるために、昨年度の内容の復習やアンケート結果を分析し、協議して課題を設定した。



## 協働性を育成する工夫

### 異学年集団での活動

中学校1・2年生混成のグループを結成し、グループごとに違う課題について探究的な学習を行った。異学年グループで活動することで、学年の違う生徒と協働する機会が増えた。



### 積極的な地域人材・資源の活用

課題解決に必要な情報を、体験を通して収集するために、積極的に校外活動を計画、実施させた。



### 思考ツールの活用

情報の整理・分析の場面で、生徒の協働性を効率よく育成するため、各グループで自分の考えが可視化できる思考ツールを活用した。



### 課題別グループの結成、担当教員の配置

設定した課題ごとに、1年生、2年生混成で4～5名の異学年グループを結成した。また、生徒がどのような思考の流れで課題を解決しようとしているか、正確に把握するために、各グループに担当教員を配置した。

## 生徒の様子

### 授業の振り返りより

他の自治体から、自分たちの町に生かせる取組を見つけ出すために活動する。自生しているから貴重な考えとせずに、植栽できるところからという視点など、色々の考えも、あまっています。どこが共通しているのか、違うのかも、しっかり考えて、これも頑張りたいです。

パンフレットにすき間があったので、そこにキャッチコピーを入れることで、ほどよくすき間があり見た目もよいパンフレットになったと思う。色や配置、図形、を変更しながら、みんなと話しながら改良を重ねて仕上げることができた。

・福富町の取組だけでなく、他県での取組を調べ、比較していくことで、客観的な根拠をもって福富町のこれからの取組に生かせることはないか検討している。

・グループ内で共通認識をもち、利用者にとって見やすいパンフレットになるよう、どのような工夫をすればよいのか合意形成を図っている様子が見える。

# 小学校5・6年生 夢の実現プロジェクト

**単元の目標** 「地域の人と協力していつも笑顔あふれる福富町」を目標に地域の人に話を聞いたりかかわったりすることを通して、地域の人々の町への思いを知るとともに、福富町の実態や現状から自分たちに何ができるかを考え、実行しながら、課題解決に向けて異学年で協働的に取り組む態度を身に付ける。

## 主体性を育成する工夫

### 児童による課題設定、学習活動の選択

「地域の人と一緒に、笑顔あふれる福富町をつくる」というテーマを児童自身が決め、活動を考える際には、自分たちがやりたいことを選択させるとともに、内容を考える時間を十分設けるようにした。

### 地域への発信、アンケートの活用

地域行事や学習発表会、参観日等で表現活動を行い、地域へ発信。

その際、QRコードを用いてアンケートも実施した。



#### ～児童の振り返り～

自然とみんなマスクからでも分かる笑顔になっていて、達成感がありました。これからの学習でも、地域の人を笑顔にできるよう頑張りたいです。

## 協働性を育成する工夫

### 協働的な姿を生む

#### 明確な課題設定や場づくり

「みんなで目標を達成しよう」という意識を育むため、導入時に明確な課題を全員で共有する時間を設けた。また、互いにアドバイスを送り合う場等も設けた。

#### ～児童の振り返り～

他のグループの人たちからアドバイスをもらって、自分たちの欠点を知ったり、自分たちの活動を違う見方で見たりすることができた。

### ICTの活用

Google のドキュメントを用いて、グループ内で情報を共有しながら企画書を作成したり、ジャムボードを活用して情報を整理したりと、協働の場面において多くICTを活用した。

## 児童の様子

### 授業の振り返りより

今日は、グループにわかれて企画書をつくりました。何をか、どうするかとみんなに向けてやるか目標にあって、みんなで考えることができました。その中で内容は新しくするか絵本をもとにするかかわれたけど笑顔にするにはもとにしたほうがいいなと考えることができました。次は福富町のことについて興味をもってもらえるように考えたいです。

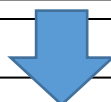
自分のグループに参加になることをお話し出せなくて困っていたけど、他のグループの人達からアドバイスをもらって、自分達も他グループのアドバイスが良かったこと、自分達の欠点、違う見方(活動内容)をしようと思った。

・ただ何となく「やりたいから」で進めるのではなく、「笑顔あふれる福富町をつくる。」という大きな目標を達成するために、いつまでにどうしていけばいいのか、毎時間小さな目標をもって学習に臨む姿が見られた。

・友達の意見を参考にし、改めて自分たちのグループの案や意見を見直す姿から、自らの考えを客観的に捉えながら課題解決に取り組もうとしていることが分かる。

【ふくとみいいね！おしえたい！ 単元ストーリー】 福富小学校第1・2学年

1年生	2年生	地域との連携 体験活動・資料	児童の意識 の流れ
○学校には、どんな場所や人、ものがあるか調べる。	○道の駅に行って、どんな場所、人やものがあるか調べる。	〈地域との連携〉 ・道の駅	・いろいろなものがあったね。 ・道の駅も小学校も、優しい人が多かったね。
○昨年度、児童が作成した動画を見て、「今年も年長さんに小・中学校や道の駅のことを教えたい。いろいろなことを調べてみたい。」という課題意識をもつ。			・年長さんに小学校のことを教えてあげたいな。 ・道の駅のことにはよく分からないな。行ってみたいな。
○子どもたちが、こども園の先生に電話をして、「年長さんに学校や道の駅のことを伝えたい。」と、願います。		〈地域との連携〉	
○1・2年生ごとに小グループを作り、互いに相手を意識しながら思いやりをもち、活動する。		・こども園の先生	
<p><b>【1年生】</b></p> <p>○学校のお気に入りの場所を調べる。</p> <p>○小学校に関わるもの（校歌や校章など）や人（校長先生など）について調べる。</p>	<p><b>【2年生】</b></p> <p>○道の駅に行って、道の駅で調べたい場所やものについて調べる。</p> <p>○道の駅で、働いている人に話を聞き、お店の工夫や思いについて調べる。</p>	〈地域との連携〉 ・道の駅	<p><b>【1年生】</b></p> <p>・図書室は、楽しい本がいっぱいあるから紹介したいな。<b>【地域】</b></p> <p>・校長先生に小・中学校の話を知りたいな。<b>【地域】</b></p> <p><b>【2年生】</b></p> <p>・道の駅は、いろんなものを売っているよ。<b>【地域】</b></p> <p>・道の駅にはたくさんの人が働いていたよ。<b>【地域】</b></p>
○小グループごとに、小・中学校と道の駅のよさや共通点を交流し、調べたことをまとめる。			
○調べたことをどのようにまとめるか、方法を考えたり、選んだりする。			・どうやったら分かりやすく伝わるかなあ。
○自分たちが考えた発表内容を交流し、年長さんに内容が伝わるか考える。			・〇〇さんたちのグループの発表は分かりやすいな。 ・自分たちの発表にも生かしたいなあ。
○小・中学校と道の駅について調べて分かったことを年長さんに発表する。（ポスター、写真、絵、マップなど）		〈地域の連携〉 ・こども園の先生 ・年長さん	・年長さんが聞いてくれてうれしかったよ。 ・年長さんが入学したときのために、学校を大切にしていこう。どんなことができるかな。
○学習を振り返り、自分がこれからどのように生活していきたいかまとめる。			<b>【生き方】</b>



めざす児童・生徒像

自分たちが生活する「福富小・中学校」と身近な公共施設のよさについて、周りの人に聞いたり、直接行ったりして調べ、学校や地域に愛着をもち、大切にしていこうとする児童

単元構想ストーリー

【とも（共・友）にいきる（生・活） 単元ストーリー】 福富小学校第3・4学

3 年 生	4 年 生	地域との連携 体験活動・資料	児童の意識 の流れ
<p>○総合的な学習の時間がどのような時間なのかを理解する。</p> <p>○昨年度の学習の成果と課題をもとに、自分たちの活動（しようとしていたことを含む）は、「里山」というキーワードと関わりが深いことを確認する。福富町の自然を守り、豊かにするために、どのようなことに取り組むかを考える。</p> <p>○「里山」という大きなテーマの中に、「森林」「田畑」「生き物」という小さなテーマを定め、どんな活動（体験や調査）を行いたいかをもとにグループを編成する。目的と活動とのつながりを明確にしながら学習の計画を立てる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">森林</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">田畑</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">生き物</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px;">各 グ ル ー プ で の 活 動</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">体験</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">調査</div> </div> <p>○行った活動について誰に報告、紹介したいかを考える。それらを踏まえて学習発表会において学習の報告、紹介を行い、保護者に伝える。</p> <p>○今年度の学習を振り返り、来年度の3年生に伝える成果と課題についてまとめ、発表の準備をする。</p>	<p>○昨年度の学習を振り返り、3年生に伝える成果と課題についてまとめ、発表の準備をする。</p>	<p>&lt;資料&gt; 4年生作成の報告用スライド</p> <p>&lt;地域との連携&gt; きこりや 賀茂地方森林組合 福富支所 竹仁地域センター 久芳地域センター すいすい倶楽部 広島大学 中坪教授 しゃくなげ館 NPO ひがしひろしま 社会福祉協議会 など</p>	<p>○昨年度の成果と課題について、3年生に分かりやすいようまとめよう。</p> <p>○森を手入れすることは自然を守ることに繋がっている。</p> <p>○自然や動物とともに生きるためにどんなことができるかな。</p> <p>○自分たちの行いたい活動は、どのテーマに当てはまるかな。</p> <p>○活動を行うために地域の人に手伝ってもらいたい。</p> <p>○実際に活動しただけではなく、続けることが大切なのか。どうすれば続けられるかな。</p> <p>○福富に住む人たちみんな、これからも福富の自然を守っていきたいな。【地域】</p> <p>○活動を通して、これからの生活にも役立てよう。【生き方】</p> <p>○福富の自然を守るための活動を続けるために、学習したことを整理しておこう。</p>

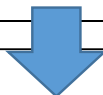


めざす児童像

福富町で自分の持ち味を生かした仕事や活動をしている人と出会い、その人たちの思いや考えを知ること、福富の地域の人達に誇りをもつことができる児童

【夢の実現プロジェクト f 単元ストーリー】 福富小学校第5・6学年

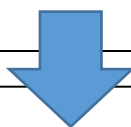
5 年 生	6 年 生	地域との連携 体験活動・資料	児童の意識 の流れ
	<p>○昨年度の学習を振り返り、課題や今年度どうしていきたいかを考え、5年生に伝えるための準備をする。</p>		<p>○去年は人口減少を抑えるために、移住者に目を向けて紹介しようとしたけれど、魅力を発信することができなかった。今年は地域の人と一緒に町に関わっていきながら発信にもつなげていきたい。</p>
<p>○昨年度の課題や6年生の思いを5年生が聞き、「地域と協力して笑顔あふれる福富町」を目指すためにできることを考え、グループに分かれる。その際、「笑顔あふれる町」のイメージを明確にし、全体で共有することで、同じ目標に向かって活動に取り組めるようにする。今年度はより自分事として町に積極的にかかわるため、「自分たちがよりよい町づくりに貢献する」という視点を持ち、できることを考え、計画を立てる。</p>		<p>&lt;資料&gt; ・人口減少についてのスライド ・昨年度の動画</p>	<p>○地域の人を巻き込んで「笑顔あふれる福富町」にするために、どんなことができるだろうか。</p>
<p>各グループでの活動</p>		<p>&lt;地域との連携&gt; ・情報源にあたる人</p>	<p>○福富町をきれいにしたり、自分たちがイベントに参加して盛り上げたり、福富町をアピールしたりすることで、笑顔あふれる町に近づかないかな。</p>
<p>○グループによって発表や展示等を計画し、アクアフェスタに参加する。今年度企画側での参加が難しい場合、客として参加をし、アクアフェスタで情報を収集する。</p>		<p>魅力をつくる人 福富の伝統を継ぐ人 など</p>	
<p>○アクアフェスタでの成果や課題を踏まえ、学習発表会において学習の中間報告を行い、保護者に伝える。</p>		<p>&lt;地域との連携&gt; 保護者にアンケート</p>	<p>○いろいろやってみたけれど、他の人は自分たちがしたことをどう思ったのかな。聞いてみたい。</p>
<p>○アクアフェスタでの経験や保護者からの意見をもとに、児童主催でのイベントを企画、開催する。</p>		<p>&lt;地域との連携&gt; お世話になった方々や支所の人など</p>	<p>○聞いたことから改善点が見つかった。次こそ地域の人を巻き込んでぼくたちの手で笑顔あふれる町にしていくぞ。</p>
<p>○探究的な学習の結果や地域の方の思いや願い等を整理し、今年度の学習を基に、来年度のよりよい方向性へ向けてまとめをする。</p>			<p>○地域の人と一緒に「笑顔あふれる福富町」をこれからも作ってみたい。【地域】</p>
<p>○1年間の学習を通して身についた資質・能力についてまとめる。</p>			<p>○この学習を通して、これからの役立ついろいろな力を伸ばすことができた。【生き方】</p>
<p>○今年度の成果や課題、6年生からの思いを引き継ぎ、次年度の5年生へ伝える準備をする。</p>			<p>○来年度は今年度の課題をもとにまた何ができるか考えていきたい。</p>



めざす児童・生徒像

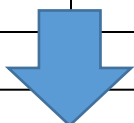
「地域に住む人とともに笑顔あふれる町づくりをしたい」という思いを持ち、自分たちにできる活動を考え、実行することを通して、この町に住む人々の思いや願いに気づき、福富町をよりよくしていきたいという意識を高めるとともに、学びを自らの生き方につなげようとする児童

1 年 生	2 年 生	地域との連携 体験活動・資料	生徒の意識の流れ 【自己の生き方を考える力】
	<p>○昨年度の学習を振り返り、1学年に伝える成果と課題についてまとめ、発表の準備をする。</p>		<p>○昨年度の成果と課題について、1学年に分かりやすいようまとめよう。</p>
<p>○昨年度の学習の成果と課題、事前のアンケートの集計結果から、福富町の魅力について再確認する。課題（人口減少・少子高齢化・ごみ問題）を改善するために、魅力を守っていく必要がある。魅力ごとにグループを編成し、福富町を守るためにはどうすればよいか考える。</p>		<p>&lt;資料&gt; 事前アンケート 集計結果</p>	<p>○福富町の課題は何だろう。（人口減少・少子高齢化・ごみ問題） ○福富町の魅力を守るためにはどうすればよいだろう。</p>
<p>○テーマごとに担当を決め、福富の魅力を守っていくためにはどうすればよいか、学習の計画を立てる。昨年度のグループにこだわらず、実態に即して新たなグループを編成する。</p>		<p>&lt;地域との連携&gt; 情報源にあたる人道の駅 しゃくなげ館 福富グラウンド 福富パークゴルフ場 福富支所 竹仁地域センター 久芳地域センター カドーレ ラベンダーはうす ONGEE HOUSE カントリーグレイン きこりや など</p>	<p>○魅力の現状を知るためには、どのような方法があるだろう。 ○収集した情報は正しいかどうか確認しよう。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">水</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">山</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">観光</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ギミ ク コ シ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">な ご み 問 題</div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">各 グ ル ー プ で の 活 動</p>			<p>○魅力を守るために、私たちができることはやっつけよう。</p>
<p>○地域の方々へのインタビューや調査活動から、集めた情報の分析や検証を行い、まとめたうえで、中間発表会を行う。</p>			<p>○他グループに聞いてもらって分かりにくいところを改善しよう。</p>
<p>○発見した課題をもとに、地域に貢献できる活動を考え、実践していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々を招いて講演会を開き、福富町の魅力・課題を伝え、共にできる活動を計画する。</li> <li>・福富町の魅力マップを作り、町内の様々な施設・事業所に設置してもらおう。</li> <li>・魅力を市の広報誌に掲載してもらえよう交渉する。</li> <li>・企画を支所に持ち込み、検討してもらおう。など</li> </ul>			<p>○地域の魅力を守る活動を通して、地域に貢献することができた。【地域】</p>
<p>○活動内容、成果と課題についてまとめ、発表を通して情報を共有する。</p>			<p>○自分たちの学びを、次につなげてもらいたい。</p>
<p>○活動を通して身に付いた資質・能力についてまとめる。</p>			<p>○この活動を通して、これからの生活にも役立つ力が身に付いた。【生き方】</p>
<p>○次年度に向けて、成果と課題をまとめておく。</p>			<p>○調べたことを次年度に生かせるよう整理しておこう。</p>



**めざす児童・生徒像**  
 福富の魅力について再発見し、それらを発信する学習を通して、福富の地域に誇りをもち、地域に貢献しようとする意識を高めるとともに、自らさまざまな視点で考え、自他のよさを生かしながら協力して課題解決に取り組むことができる生徒

学習活動	地域との連携 体験活動・資料	生徒の意識 の流れ
<p>○昨年度の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各グループで調べたこと（福富町の魅力）を再確認し、「魅力あるまちづくり」について意見を出し合う。</li> <li>さまざまな視点，立場から考えてみる。</li> <li>「何のために」という根拠も併せて考える。</li> <li>家族の意見も参考にする。</li> <li>課題と思われる点，現状を明確に認識するようにする。</li> </ul>	<p>&lt;資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度の1・2年発表資料</li> </ul>	<p>○昨年度，さまざまな分野で，魅力を再発見することができた。魅力あるまちづくりにどう生かしていけばよいだろうか。</p> <p>○将来的に福富町がどうなっていくとよいだろうか。</p>
<p>○現在，課題と考えられる点（人口減少，少子高齢化）も踏まえて，将来の魅力ある町づくりのために，どのようなことができるか考える。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>○内容のうえから分類すると，どのようなグループ分けができるか考える。</p>	<p>&lt;資料&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福富町人口の推移が分かるデータ</li> <li>他市町村の地域活性化の取組が分かるもの（新聞記事など）</li> <li>「第Ⅱ期 広島中山間地域地域振興計画」</li> </ul>	<p>○福富町にある資源の有効活用はできないだろうか。</p> <p>○移住する人には，福富町の魅力を分かたうえで来てほしい。</p> <p>○アクアフESTAで広報活動をすることはできないだろうか。</p> <p>○信ぴょう性を高めるためには，過去のデータなどの資料を活用して，まとめる必要があるだろう。</p>
<p>○3つのグループ（住まい，農業・特産品，生活）に分かれ，仮説を立てる。</p> <p>「～ することができれば，もっと魅力ある町づくりにつながるのではないか。」</p> <p>検証の方法を考え，取組を進める。</p> <p>○各取組における課題となる点を，各専門分野の方（学校運営協議会）にお聞きし，改善を図る。</p>	<p>&lt;地域との連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福富支所</li> <li>道の駅</li> <li>しゃくなげ館</li> <li>各分野でお話を聞くことが可能な方</li> <li>学校運営協議会</li> </ul>	<p>○自分たちの仮説が正しいか（現実的か）検証するためには，専門的な知識がある人に聞いてみるといいのではないか。</p>
<p>○文化発表会で中間発表を行う。</p> <p>グループごとに，現時点での取組内容を発表する。</p>	<p>など</p>	<p>○発表してみて，改善する点に気付いた。</p> <p>○発表内容をさらに吟味しよう。</p>
<p>○中学1・2年生及び地域の方に向けて，「福富提言」を発信する。（例：支所や道の駅での展示）</p>		<p>○次年度に向けて，また地域にとって参考になる発信ができただろうか。</p> <p>○学習を通して，これから役立つ力を伸ばすことができる。</p>
<p>○「福富提言」に取り組むことで身に付いた資質・能力についてまとめ，今後の生き方に生かそうとしている。</p>		<p style="text-align: right;">【生き方】</p> <p>○福富町で生きていく人間として，地域活性化のためにできることがないか，これからも考えていきたい。</p> <p style="text-align: right;">【地域】</p>



めざす児童・生徒像

福富のよりよい未来に向けて，発展的なテーマを設定・発信する学習を通して，福富の地域に誇りを持ち，地域に貢献しようとする意識を高めるとともに，仮説→検証→結論といった思考の手順を導き出し，議論したうえで合意形成をすることができる生徒